



第2回 多職種連携勉強会「救命入門コース」

○名古屋市消防局名東署より署員2名「デイサービスくぬぎ」にて

平成25年11月14日(木)午後1時より救命入門コース90分の実技勉強会を開催しました。参加者は18名で9名ずつ2グループに分かれ心肺蘇生法とAEDによる電気ショック(除細動)実技を行いました。救命の順番は次の通りです

- ①【反応の確認】両肩を叩きながら「大丈夫ですか!」
- ②【助けを求める】「誰か助けて下さい!」「あなたは119番通報をお願いします」「あなたはAEDを持ってきてください」
- ③【呼吸の確認】「1・2・3・4...10」口元を頬に近づけて胸の上下を見る
- ④【胸部圧迫】1分間に100回の速さで絶え間なく30回胸の中央を圧迫する
- ⑤【気道確保と人工呼吸】頭を上げて鼻をつまんで大きな口を開けて2回息を吹き込みます
AEDが到着しパッドを貼るまで続ける
- ⑥【AED到着】電源を入れる。音声メッセージの指示に従う
- ⑦【電極パッドの装着】心臓を挟むように貼る。コネクタをソケットへ差し込む
- ⑧【除細動実施】電気ショックが必要な場合は「電気ショックが必要です」と音声メッセージが流れ、傷病者から離れるように指示をして、ショックボタン(点滅ボタン)を押します
- ⑨【救急車到着まで】音声メッセージに指示に従い④番に戻り繰り返し続ける



実際の場面に遭遇しても落ち着いて行動できるように定期的に関催したいと思います

● **リハビリ**についてのご相談もいつでもお待ちしております

(熊澤・理学療法士)



中部メディカル新聞は皆さまの情報をお待ちしております



中部メディカルの看護師便り

皆さん寒くなってきましたが、如何お過ごしでしょうか?

中部メディカル 訪問看護ステーションでは、スタッフ全員がインフルエンザの予防接種をうけ、来たる冬に備えています。皆様は、予防接種お済みですか?

インフルエンザの確定診断には、抗原迅速診断キットが用いられます。これは鼻や咽頭の拭い液などを検体として、ウイルスを直接検査して測定するもので、15分程度で結果が出ます。ただし、感染直後でウイルス量が少ないと陰性を示す場合があります。治療には、抗インフルエンザ薬を発症後48時間以内に投与します。そうすることで、症状の軽減や、急性期症状の期間の短縮が期待できます。抗インフルエンザ薬には、タミフル・リレンザ・シンメトリルなどがあります。タミフルが一般的ですが、リレンザも10代の青少年などを中心に使用されています。流行期には「咳エチケット」に従い、鼻水や咳、くしゃみなどの呼吸器症状のある場合には、マスクを着用しましょう。今年を何とか元気にやり過ごしましょう!!

(河合・管理者看護師)



私の18のピリーフ 14番「健康管理」

日に日に寒くなり風邪やインフルエンザが流行する季節になりました。当ステーションではスタッフの健康管理として適度な運動、バランスのよい食事、夜更かしをせず早寝早起きをして十分に睡眠をとるように普段から声掛けをしています。高い生活スキルを身につけて、ストレスに負けない強い体づくりがより良いサービスに繋がると信じて頑張っています

(熊澤真・専務)



中部メディカル 訪問看護ステーションの理念

- **こころを大切に** (ご本人とご家族のこころを大切にします)
- **連携を大切に** (地域のケアチームと親密で良好な関係を築いていきます)
- **スピードを大切に** (出来る限り早く対応して信頼されるステーションを目指します)





看護師雑記 みちくさ

頭の体操パート2！簡単すぎるかな？

○の中に同じ文字を入れましょう！



- ① ○しやき○も
- ② クリ○マ○
- ③ ○ん○や
- ④ お○だんほど○
- ⑤ こ○ば○は
- ⑥ し○う○
- ⑦ ○○ア
- ⑧ ぎ○うに○う
- ⑨ コ○モ○
- ⑩ と○きよ○

いくつ出来たかな？

答えはスタッフへお尋ねください！

(加藤・看護師)



スタッフのほっと一息

今回は少し足を伸ばして、東区の洋菓子・喫茶「ボンボン」さんへ行ってきました

ご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。こちらは1949年（昭和24年）に創業されたお店です。店内にはいると昭和の雰囲気に取り込まれてしまう、まさに純喫茶。たくさんあるケーキの中から、お店で人気NO2のボンボン生ロールとコーヒーをいただきました。このロールケーキは、一口食べると流行のロールケーキとは一味違い、ほっとするような懐かしい味がします。コーヒーカップも厚みがあり、どこかタイムスリップしたような気になりました本当に？と思われた方、ぜひ東区へお出かけの際は体験してみてください。そしてぜひ感想をお聞かせください！皆様の情報お待ちしております

(三宅・看護師)



中部メディカル 訪問看護ステーションでは毎週水曜日に社内勉強会を開催しています

11月は「ナイチンゲール」を勉強しました



フローレンス・ナイチンゲールとは？ (Florence Nightingale, 1820年 - 1910年)



フローレンス・ナイチンゲールは近代看護の生みの親で、150年ほど前に「白衣の天使」、「ランプの貴婦人」と呼ばれ、クリミア戦争で負傷兵たちへの献身な看護をした人ということは有名ですが、実際はどんな人だったのでしょうか？

統計に基づく医療衛生改革をしたり、ナースコールを発案して病院建築でも非凡な才能を発揮したり、古い制度と戦う改革者で社会企業家でした。子供の頃抱いていたランプを持って兵舎病院を歩き回る優しいイメージとはずいぶん違っています。ナイチンゲールの名言に「看護はひとつの芸術である」、「子を失う親のような気持ちで、患者に接することができない、そのような共感性のない人がいるとしたら、今すぐこの場から去りなさい」→看護学校の生徒に向かっていった言葉。「経験をもたらすのは、観察だけなのである。観察をしない女性が、50年あるいは60年病人のそばで過ごしたとしても、決して賢い人間にはならないであろう」などがあり大変に感銘を受けました。ナイチンゲール精神とは何であるか？

①患者さんをよく観察すること。②患者さんを精神的にささえること。③環境を重視すること。つまり、自然が患者に働きかけるにもっとも良い状態に置くことがナイチンゲール精神ではないでしょうか？ナイチンゲールの多くの言葉は、今の時代にも十分に活用できます

私たち中部メディカル訪問看護ステーションでは、朝のミーティング前にスタッフ全員で事務所の環境整備にあたり、一日を気持ちよく仕事ができるようにしており、また皆様の少しでもこころの支えになれるよう心掛けています。12月は「新しい車椅子」などの勉強会を行う予定です

(大野・看護師)



訪問看護、訪問リハビリについてのご質問ご相談のお電話、メールをお待ちしております
勉強会資料希望の方は無料で配布致します。ホームページからもお問い合わせできます



事業所番号 NO.2361390186

中部メディカル 訪問看護ステーション



〒463-0048 名古屋市守山区小幡南三丁目 17-31 B-3

TEL 052-792-9802 FAX 052-792-9803

携帯 080-5298-9513

E-mail chubucare@arion.ocn.ne.jp

HP <http://www.chubu-med.com>

